

普遍ニュースレター

Newsletter from Center for General Education, Chiba University

Design : CHIHARA Kazuhiko

2013.02 No.12

“普遍ニュースレター”は、
普遍教育センターの活動を中心に普遍教育・大学教育の動向に関する情報を
定期的に紹介していきます（年2回刊行予定）。

●千葉大学普遍教育の今後－平成24年度学部訪問を終えて－

学部訪問は、普遍教育センターの恒例行事となっており、千葉大学における普遍教育の企画・運営・評価に欠くことのできない機能を果たしています。平成24年度は9月下旬から文学部を皮切りに約3週間をかけ、9学部を訪問させていただきました。議題は、全学出動体制、情報処理科目の改革、補習授業の見直し、修士課程を視野に入れた普遍教育の提供などであり、数々の貴重なご意見をいただきました。内容の詳細に関しましては、普遍教育センターのホームページに掲載致しましたので是非、ご一読下さい。

学部訪問は上述のような議題について意見交換をすることを通して、各学部や千葉大学全体の普遍教育に対する対応の変化を実感する機会となります。今年度は、各学部がこれまで以上に厳しい状況に移行しつつあることを実感させられました。

教員の定員削減、定年後の教員の不補充などとともに、競争的資金の獲得といった課題を克服する必要があります。これらを理由に複数の学部から「これまで担当していた普遍教育科目を次年度、担当できない可能性がある」「専任教員が担当できない普遍教育科目を教員不補充分の非常勤講師枠で対応したい」といったお申し出をいただきました。過去にも直面し、対応してきた事態ではあります。しかし、今年度は、これまで以上に深刻な状況が目前に迫っているという危機感を感じました。

千葉大学が学生の教育を通じて社会をより健全な方向へと先導し、社会の要請にもエネルギーに対応していくためには、先進的な研究や専門教育の充実とともに学生への豊かな普遍教育の提供は必然です。普遍教育を各学部の専任教員の先生方に幅広く担当いただくことがそのことにつながります。そのために大学全体として何をどのように考え、どのような組織を作り、どのような教員をどの程度、確保すべきか、確認しておかなければならないと思いました。

平成25年も普遍教育の充実のためにこれまで以上のご協力をよろしくお願い申し上げます。

センター長 舟島なをみ

第5回普遍教育シンポジウム「修士課程を視野にいれた普遍教育のあり方について」(2012年11月27日)を開催しました

普遍教育センターでは、毎年1回、普遍教育の課題や将来展望を全学的に検討する機会として、普遍教育シンポジウムを行っています。2012年度は、去る11月27日に、「修士課程を視野に入れた普遍教育のあり方について」をテーマとして開催しました。当日は、斎藤康学長の挨拶の後、小林信一筑波大学大学研究センター教授と三成賢次大阪大学コミュニケーショ

ンデザイン・センター長にご講演いただき、そして、小沢弘明普遍教育センター副センター長より、普遍教育センターで検討してきた将来構想について報告されました。

小林先生からは「大学院に普遍教育（教養教育）は必要か？」として、大学院レベルでの共通教育についてのアメリカ・イギリスを中心とする国際的な動向とその背景と課題が提示されました。そこでは2000年前後から大学院教育のあり方が世界的課題となっていくこと、博士後期課程・修士課程を対象とした大学教員共通科目の可能性が議論されました。三成先生から

は、「大阪大学における大学院の教養教育－知のジムナスティックスー」として、大阪大学での大学院教養教育のカリキュラムの考え方や運営のあり方が紹介されました。大学院横断科目や3年次以上の学部学生と大学院生を対象とした「高度教養プログラム」の科目提供の現状が具体的に伝えられました。小沢先生からは、「大学院を視野にいたした普遍教育」として、千葉大学の大学院共通科目の可能性について、学士課程の普遍教育運営の経験と現状を踏まえた千葉大モデルの可能性が提案されました。

このように今回シンポジウムでは、大学院での普遍教育の可能性や実践例を共有し、そこから学ぶ機会となりました。普遍教育センターでは、シンポジウムでの議論を千葉大学の普遍教育の今後の発展に活かしていきたいと考えています。

(白川優治)

第7回学生懇談会を開催しました

普遍教育センターでは、毎年、普遍教育についての学生懇談会を開催しています。今年度は、12月4日に総合校舎A号館201教室で、各学部の1、2年生を中心とする35名の学生と普遍教育センターの専任教員及び各専門教員集団主任・副主任ほか20名以上の教員の参加により開催しました。学長も最初から最後までご出席くださり、貴重なご意見をいただきました。

運営に工夫を施し、少しでもスムーズな進行に努めましたが、それでも予定の2時間を超え、熱心な意見交換が行われました。もっと発言したかったという学生の声も少なからずありました。

今回は、例年にも増して、建設的で有意義な意見交換の機会が持てたように思います。

懇談会後のアンケートでは、全体として満足しているとの回答が89.3%（満足42.9%、少しは満足46.4%）、内容構成が適切だったとの回答が85.8%

（適切42.9%、やや適切42.9%）、質問・意見への回答が適切だった85.7%（適切39.3%、やや適切46.4%）と時間配分についての回答以外は、学生にとって満足度の高い懇談会となりました。自由記述では、「先生方がわかりやすく説明してくれた」、「先生方の熱意が伝わってきた」、「日頃思っている不満点が解消に向かった」など、学生と教員が直接対話できる機会が持てたことの効果をあげる意見が多く寄せられました。もちろん、学生の希望と教員の思いに隔たりがあることを指摘する意見もありましたが、そのことを確認すること自体も大切だと考えています。

普遍教育センターでは、懇談会に参加した学生の意見や指摘を普遍教育の充実にできるかぎり活かしていきたいと思っています。

なお、懇談会の概要とアンケート結果を普遍教育センターのホームページに掲載しますので、ぜひご一読ください。

(前田早苗)

普遍教育センターから

● センターの行事等の予定

新年度に向けて、以下の行事を開催する予定です。

3月29日(金)	13:30～	ガイダンス担当教員説明会 (園芸学部と同時に配信予定)
4月1日(月)		} 新入生向け普遍教育 } ガイダンス (計5回開催)
2日(火)		
4月3日(水)	13:30～	} 新任教員研修会
4月8日(月)	13:30～	
4月4日(木)	13:30～	既修得単位認定予備審査
4月12日(金)	(予定)	TA研修会

これらの行事開催にあたって、各部署の教職員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

☎ 普遍ニュースレター No.12 2013年2月発行 ☎

発行・編集：千葉大学 普遍教育センター

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 Tel：043-290-3609 (普遍教育室)
E-mail: fuhen-info@office.chiba-u.jp URL: http://fkc.chiba-u.jp/